

特集によせて

編集委員長 和久屋 寛*

佐賀大学教育学部附属教育実践総合センターが発行する研究紀要「佐賀大学教育実践研究」は、今回で、第40号を数える。1985年3月に第1号が発行されたときは「教育実践研究指導センター紀要」という名称で、本センターの前身、佐賀大学教育学部附属教育実践研究指導センターの研究紀要という位置付けであったと聞く。その後、2002年に組織改編があり、2003年3月からは、現在の「佐賀大学教育実践研究」に名称を改め、引き続き、第19号以降を発行してきた。ただし、2017年は3月に第34号、12月に第35号を発行しており、やや変則的となっている。その一部については、図1に示すとおり、センター長室の書架に並べられている。

当初は、冊子体のみの発行であったと思われるが、この40年間で、その形態は電子媒体へと重心を移し、現在では、CD-ROMのほか、佐賀大学機関リポジトリ (<https://saga-u.repo.nii.ac.jp/>)にも収録され、誰でも、いつでも、どこからでも、気軽に閲覧することが可能となっている。また、近年は、投稿もMS-Formsを利用し、編集作業も情報通信技術 (ICT) を最大限に活用することで、その事務的な負荷軽減にも取り組んでいる。

さて、このような変遷を経て、現在では、全国にも数少ない実践的な内容の豊富な研究紀要という位置付けを確立しつつある。これも、教育学部と附属学校園及び代用附属学校の教員の積極的な投稿に負うところが大きい。そこで、この特色を活かし、

- 教育実践論文： 幼児教育、初等教育、中等教育、障害児教育等の実践を対象とし、教育実践の改善を目指した具体的な提言を行う研究。
- 研究論文： 調査研究・実証実験研究などの仮説検証型や仮説生成型の研究及び文献研究。
- 実践報告： 研究プロジェクトの記録、教育実



図1. センター長室の書架にある過去の研究紀要 (一部)

践の経過と成果など、実践上のユニークな視点や方法、工夫などの報告。速報性を重視。

に分類したうえで、現場で直ちに役立つ情報提供を目指して、原稿募集を行っている。

上述のとおり、今回で第40号を迎える。そこで、この機会に特集号を企画し、教育学部と附属学校園の共同研究に関する特別セクションを設けた。これ該当する特集原稿は、教育実践論文が3編、研究論文が2編、実践報告が3編であり、合計8編であった。異なる立場の教員が連携協力することで、単独では到達することのできなかつた“新たな境地”を切り拓けたと確信している。なお、それ以外の一般原稿は11編であり、両者を合わせると、この第40号への掲載原稿は19編となった。この機会を利用して、敢えて「特集／一般」を分けて掲載するという試みに挑戦したが、これから先、教育学部と附属学校園は更なる連携協力を深化させていく予定である。

末筆ながら、それぞれの学校現場において、これらの原稿 (過去の掲載原稿を含む) が有益な情報としてお役に立てたのであれば、望外の喜びである。なお、第40号は、単なる通過点と考え、引

き続き，御指導，御鞭撻を賜れば幸いである。

【追記】本センターが発行する研究紀要「佐賀大学教育実践研究」のほか，何かお気づきの点などがあれば，お気軽に電子メールで御意見をお寄せ下さい。よろしくお願ひします。

連絡先：icerd@ml.cc.saga-u.ac.jp